

各位

上場会社名 アンドール株式会社  
 代表者 代表取締役 小志田一喜  
 (コード番号 4640)  
 問合せ先責任者 管理部長 杉山賢太郎  
 (TEL 03-3243-1711)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	600	△5	1	△10	△1.93
今回発表予想(B)	653	△117	△35	20	3.97
増減額(B-A)	53	△112	△36	30	
増減率(%)	8.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	996	△3	2	△5	△1.07

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,580	10	15	5	0.97
今回発表予想(B)	1,280	△90	△5	30	5.79
増減額(B-A)	△300	△100	△20	25	
増減率(%)	△19.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	1,943	30	51	5	0.99

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	450	7	13	10	1.93
今回発表予想(B)	413	△52	△16	9	1.87
増減額(B-A)	△36	△59	△29	△0	
増減率(%)	△8.2	—	—	△3.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	634	12	20	18	3.54

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,000	15	20	15	2.90
今回発表予想(B)	810	△50	△15	10	1.93
増減額(B-A)	△190	△65	△35	△5	
増減率(%)	△19.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	1,228	24	36	11	2.18

### 修正の理由

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、昨年来より継続している米国をはじめとした海外経済不安が長期化するなか、金融危機の深刻化や株式・為替市場の大幅な変動などの影響から企業収益の構造悪化を招きました。情報関連業界においても、基幹産業の業績不振などから設備・開発投資の減少や在庫調整による減産などにより受注が大幅

に減少いたしました。

当社グループのエンジニアリングサービス事業においても、既存プロジェクトの中断や新規プロジェクト立ち上げの延期等、売上高は計画をやや上回ったものの利益率の低下により、また、プロダクツ事業においても、収益性の高い自社開発商品の売上高増を推し進めているものの、顧客となる製造業の収益の大幅な減少等により、予想を超えた厳しい状況となっております。

このような状況を踏まえ、グループを挙げて、エンジニアリングサービス事業では利益率の改善、プロダクツ事業では、新規CADソフト等の販売、および固定費の削減に努めましたが、営業利益、経常利益は当初予想をに下回る見込みであります。

通期につきましても、同様の理由で引続き、厳しい環境が予想されます。

当社グループは全社をあげて、新規顧客開拓により売上の確保、更なるコストの削減に取り組んでまいりますが、通期の売上高、営業利益、経常利益は、当初予想よりも減少する見込みであります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上